

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成28年9月29日

計画の名称	自然と調和した潤いのある環境都市																				
計画の期間	平成22年度～平成26年度(5年間)					交付対象	大館市														
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。																				
計画の成果目標(定量的指標)	・大館市の下水道処理人口普及率を41.6%(H22当初)から50.1%(H26末)に増加させる。																				
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口(人)／総人口(人)</td> <td colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</td> <td rowspan="3">備考</td> </tr> <tr> <td>当初現況値 (H22当初)</td> <td>中間目標値 (H24末)</td> <td>最終目標値 (H26末)</td> </tr> <tr> <td>41.6%</td> <td>45.2%</td> <td>50.1%</td> </tr> </table>										下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口(人)／総人口(人)	定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)	41.6%	45.2%	50.1%
下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口(人)／総人口(人)	定量的指標の現況値及び目標値			備考																	
	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)																		
	41.6%	45.2%	50.1%																		
全体事業費	合計 (A+B+C)	3,500百万円 2,735百万円	A	2,900百万円 2,735百万円	B	百万円	C	600百万円 0百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C)	17.1% 0.0%											

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
大館市下水道事業担当課により事業実施状況・指標の達成状況の確認および評価を実施。	計画期間終了後(平成28年9月)
	公表の方法
	大館市のホームページにて掲載する。

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業															
A1 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
大館処理区(大館地域)															
1-A1-1	下水道	過疎	大館市	直接	大館市	清水幹線、中道・有浦地区 95ha(公共)	汚水管φ350~200 L=14,830m 汚水管φ350~200 L=23,740m	大館市						1,790 1,699	
1-A1-2	下水道	過疎	大館市	直接	大館市	御成幹線、御成町・有浦地区 54ha(公共)	汚水管φ400~200 L=9,290m 汚水管φ400~200 L=8,611m	大館市						710 680	
1-A1-3	下水道	過疎	大館市	直接	大館市	根下戸新町地区 13ha(公共)	汚水管φ200 L=1,430m 汚水管φ200 L=1,477m	大館市						65 84	
1-A1-6	下水道	過疎	大館市	直接	大館市	施設計画の見直し	効率的事業計画策定	大館市						20 12	
大館処理区(比内地域)															
1-A1-4	下水道	過疎	大館市	直接	大館市	1号汚水幹線、味噌内地区 4ha(公共)	汚水管φ150 L=780m 汚水管φ150 L=1,538m	大館市						85 81	
大館処理区(田代地域)															
1-A1-5	下水道	過疎	大館市	直接	大館市	田代1号幹線、茂屋地区 20ha(特環)	汚水管φ200 L=3,860m 汚水管φ200 L=2,481m	大館市						230 179	
合計												2,900 2,735			
B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
合計													0		
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考			

C 効果促進事業				直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象						H22	H23	H24	H25	H26		
大館処理区(大館地域)															
1-C1-1	下水道	過疎	大館市	直接	大館市	清水幹線、中道・有浦地区(公共・単独)	汚水管φ200 L=3,320m	大館市							343 0
1-C1-2	下水道	過疎	大館市	直接	大館市	御成幹線、御成町・有浦地区(公共・単独)	汚水管φ200 L=1,610m	大館市							163 0
1-C1-3	下水道	過疎	大館市	直接	大館市	根下戸新町地区(公共・単独)	汚水管φ200 L=230m	大館市							22 0
大館処理区(比内地域)															
1-C1-4	下水道	過疎	大館市	直接	大館市	1号汚水幹線、味噌内地区(公共・単独)	汚水管φ150 L=70m	大館市							7 0
大館処理区(田代地域)															
1-C1-5	下水道	過疎	大館市	直接	大館市	田代1号幹線、茂屋地区(特環・単独)	汚水管φ200 L=800m	大館市							65 0
合計												600 0			
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考	
1-C1-1	A1-1と接続するC1-1を一体的に面整備を行うことにより、より効率のよい工事が行われるとともに普及率の向上を図る。														
1-C1-2	A1-2と接続するC1-2を一体的に面整備を行うことにより、より効率のよい工事が行われるとともに普及率の向上を図る。														
1-C1-3	A1-3と接続するC1-3を一体的に面整備を行うことにより、より効率のよい工事が行われるとともに普及率の向上を図る。														
1-C1-4	A1-4と接続するC1-4を一体的に面整備を行うことにより、より効率のよい工事が行われるとともに普及率の向上を図る。														
1-C1-5	A1-5と接続するC1-5を一体的に面整備を行うことにより、より効率のよい工事が行われるとともに普及率の向上を図る。														
2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況															
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況				・大館市の快適な暮らしを実現し、良好な環境の創造に寄与するため、計画的かつ効率的に下水道を整備することで、下水道処理人口普及率が8.2%増加した。											
II 定量的指標の達成状況				指標(下水道処理人口普及率)	最終目標値	50.1%	目標値と実績値に差が出た要因	人口減少に加えて、平成25年度整備地区の一部(清水四丁目、御成町三丁目、茂屋)が住宅点在地区のため、供用開始区域内人口の増加量が想定していたよりも小さくなり目標を達成出来なかった。							
					最終実績値	49.8%									
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)															
3. 特記事項(今後の方針等)															
<ul style="list-style-type: none"> 本計画においては、定量的指標は概ね達成することが出来た。 今後は、人口減少社会の到来等社会経済情勢の変化を踏まえた適切な汚水処理計画に基づき、引き続き計画的かつ効率的に汚水整備を行い、生活環境の改善、公共用水域の水質保全等、大館市の住みよい住環境及び水質保全の実現に寄与していく。 															